

平成26年第10回  
上小阿仁村議会定例会  
会 議 録

平成26年12月16日（開会）

平成26年12月18日（閉会）

○議長（小林信） 次に、6番 北林義高君の発言を許します。6番、北林義高君。

○6番（北林義高） それでは、私の質問は、猟友会会員の減少を抑制するためにもっと補助金を、という質問をさせていただきます。

県内でも、鳥海山麓ではじめてシカが確認されてから、県内各地での目撃情報が相次いでいます。県内に生息していないとされてきたイノシシの目撃情報が相次いでいます。これらの野生動物が、県内で繁殖するようになれば農林業の食害や自然植生への悪影響は避けられない。被害が出る前に早急に対策が必要と思われまます。

シカに関しては、昨年度、3億円近い農作物被害を出した岩手県から超えてきた可能性があります。昨年9月に、横手市で子連れのメス1頭が見つかったのをかわきりに、本年度は横手市、鹿角市、大仙市で3頭が目撃されています。上小阿仁村でも、黒岩林道での目撃情報があります。今は、まだ群れでの目撃がありませんが、繁殖力が強いだけに短期間で増える恐れがあります。増加すれば農作物や樹木の被害が出るのは明白です。白神産地などでは、監視カメラを設置して警戒を強めております。被害が出る前に国や県、市町村、猟友会などと情報を共有して対応する必要があります。

減少著しいハンター育成のために、狩猟免許取得の助成や猟銃所持許可の更新時の技能講習免除期間の延長、ジビエの普及や檻の設置費用の補助金など、村だけではできないこともあります。国や県にも働きかけることも必要と思われまます。

村内猟友会会員も高齢化で減少している今、シカやイノシシが増えると人手が足りなくなります。対策が急がれますが、村としてどのように考えているかお聞かせください。

○議長（小林信） はい、村長。

（村長 中田吉穂 登壇）

○村長（中田吉穂） 北林議員のご質問にお答えしてまいりたいと思います。

猟友会の減少、シカの繁殖等についての村の考え方、それからまた、ハンターの養成仕方というふうなご質問であると思います。

猟友会は、11月末現在、実働する方が7名であり、昨年4月の12名から5名減少しております。加えて会員の高齢化も顕著になってきており、20代の会員が2名おりますが、他の5名の平均年齢は、71.6歳であり、本村にとっては、後継者の育成とともに、今後の鳥獣被害対策が憂慮されるところであります。

猟友会には、平成16年度まで28,000円の補助金を出しておりましたが、平成17年度に猟友会から補助金申請しない旨の申し出があり、以来、補助金は交付しておりません。

猟友会への現在の村の対応としての主なものは、平成 25 年 4 月から鳥獣被害対策実施隊を設置したことにより非常勤特別職となり、年額報酬 2,500 円が支給されております。また、これにより狩猟税の税率の特例を受け、2 分の 1 の 8,250 円が免除されております。加えて、平成 28 年 12 月 3 日までの間は、銃刀法に基づく猟銃の所持許可の更新時における技能講習が免除されております。

その他、罨免許の謝礼 40,000 円、檻の餌のハチミツ代 96,000 円、猟友会の所有の檻 2 基の借上料 69,000 円を予算計上しており、以前の補助金以上に対応しております。

また、本年度は村で組み立て式の檻 3 基を購入し、猟友会の負担軽減に努めております。

檻設置については、北林議員の言われるように猟友会員の高齢化、人手不足により設置と撤去作業の負担が重くなってきております。更に毎日の朝晩の見回りなど、会員 1 人当たりの労力及び車両燃料代の負担も大きくなってきております。有害鳥獣駆除に対し、村の対応策はという質問でございますので、その檻に対する捕獲作業に対しての費用負担も検討いかなければならないのかなというふうに、今、思っております。

シカやイノシシへの対応については、ニホンジカは村内で発見されと、猟友会から情報を得ておりますが、イノシシについてはまだ目撃情報は届いておりません。今後、いずれ村の鳥獣被害防止計画に掲げる対象鳥獣となっておりますので、今後、被害の発生を見越して対象にするかどうかを検討する必要があると考えます。

会員不足等については、他の自治体では猟友会になることを前提に猟銃免許取得に助成しているところもありますが、免許取得後の費用負担などから、思うように会員不足の解消につながっていないようであります。また、難しい面もありますが、隣接する北秋田市の猟友会から応援を受けることができないかも検討しております。

いずれにしても、山間地であります本村では有害鳥獣被害対策は避けて通ることができませんので、猟友会とも協力して他自治体の動向と併せ、できるだけ支援を検討してまいりたいなあと考えております。

今年、若者センターの方で北秋田猟友会の総会がございました。安全に対する総会でありましたけれども、私もその場に出席をさせていただきまして、このシカの問題、すぐに見つけたら射殺しなさいというふうな指示を出しておりました。繁殖力が大変強いということで、悠長しておれば、山の木とか畑ものものとかがみんなやられてしまうというふうなことで、悠長できない問題だと言われたおりました。私には、よくそういう知識がなかったので、分かりませんでしたけれども、今、北林議員の質問を聞きながら、そういうことかなあと

いうふうに理解しているところです。

いろいろ、猟友会の善意に甘えて、今現在、村の安全を確保しているわけですが、実際のところ檻を設置しますと、毎朝見に行かなければいけないということで、その労力が大変だというお話も聞いております。できるだけ猟友会の方々に、何が大変なの、何を補助してもらいたいのか、村にどういうことをお願いしたいのか聞きながら進めていきたいなど、我々が分からないところを、いろんな面で住民の方々、そういう方々が頑張ってくれているということで、我々も安心して暮らせるのだなという思いをもっておりますので、できるだけ意を汲んでやれたらなと思っておりますので、また、議員の方々にもいろんな声がありましたら、村の方に届けていただければと思いますので、よろしく願いをいたします。

○議長（小林信） はい、北林義高君。

○6番（北林義高） 答弁、どうもありがとうございました。

シカが増えてからでは遅くなりますので、今のうちに対処できるようにお願いしたいと思います。

これで、私の質問を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長（小林信） 一般質問の途中でありますが、質問通告時間等の調整もございしますので、午前の質問をここで一旦閉じて、休憩としたいと思います。

午後1時から再開といたします。

11時11分 休憩